



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 高松機械工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6155 URL <https://www.takamaz.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高松 宗一郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 四十万 尚 (TEL) 076-274-1410
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,459	△3.6	△62	—	△120	—	△134	—
2025年3月期第1四半期	3,588	5.9	△193	—	△181	—	△160	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △357百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △67百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△12.53	—
2025年3月期第1四半期	△14.94	—

(注) 1 2026年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 2025年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	21,023	15,873	75.5
2025年3月期	21,904	16,282	74.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 15,867百万円 2025年3月期 16,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	6,000	△7.0	△474	—	△553	—	△577	△53.61
通期	15,287	10.0	138	—	133	—	84	7.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
業績予想の修正につきましては、本日(2025年8月8日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	11,020,000株	2025年3月期	11,020,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	249,539株	2025年3月期	249,539株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	10,770,461株	2025年3月期1Q	10,751,320株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかに回復しているものの、米国の通商政策等の影響により不透明な状況が続いています。また、世界的な地政学リスクや主要国の金融政策の転換なども背景に外部環境の不確実性が高まり、先行きには慎重な見方が必要な状況にありました。

当社グループの主力分野である工作機械業界は、外需を中心に堅調な推移が続き、当第1四半期連結累計期間の業界受注総額は、前年同期比3.4%増の3,920億円となりました。内需では一部分野で更新需要が見られるものの、自動車関連は年度末である3月に受注が集中した反動減や、次世代車の開発方針に対する慎重な姿勢から伸び悩みました。外需では北米・アジアを中心に活況が継続し、特に中国では政府の設備更新支援策が追い風となりました。

このような状況の中で、当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は26億54百万円(前年同期比22.8%減)、受注残高は41億59百万円(同37.0%減)となりました。また、売上高は34億59百万円(同3.6%減)、営業損失は62百万円(前年同期は1億93百万円の営業損失)、経常損失は1億20百万円(前年同期は1億81百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億34百万円(前年同期は1億60百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

なお、当四半期連結累計期間あるいは前四半期連結累計期間の一方もしくは両方がマイナスの場合や増減率が1,000%以上となる場合は、前年同期比増減率の記載に代えて、前年同期の金額を記載しております。

① 工作機械事業

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、受注高が23億83百万円(前年同期比24.6%減)、受注残高が38億79百万円(同36.4%減)、売上高が30億94百万円(同4.8%減)、営業損失が80百万円(前年同期は1億88百万円の営業損失)となりました。

受注高の地域別内訳は、国内向け及びヨーロッパ向けが増加した一方、北米向け及びアジア向けが大きく減少した結果、内需が16億91百万円(前年同期比8.1%増)、外需が6億92百万円(同56.6%減)となりました。

売上高の地域別内訳は、アジア向けが増加した一方、国内向け、北米向け及びヨーロッパ向けで減少した結果、内需が18億43百万円(同2.1%減)、外需が12億50百万円(同8.4%減)、外需比率が40.4%(前年同期は42.0%)となりました。

第1四半期連結累計期間における主な取り組みとして、既存顧客の深耕及び新規顧客の開拓を通じた受注拡大をはかりました。ターゲットユーザをリストアップし、訪問活動を強化したとともに、国内外の主要展示会やディーラ主催の展示会に出展し、実機デモンストレーションを通じて、当社製品群の特長や優位性などをPRすることで引合・受注の確保に努めてきました。

2025年5月に開催されたMEX金沢2025では、シャフト部品加工などをターゲットとしたXTLシリーズのハイエンドモデル「XTL-8MYS」を筆頭に、実用的かつ時代のニーズに合った製品ラインナップ等を展示しました。また、オプションにより両端加工工程の集約が可能となった「XYT-51」による加工実演も行い、当社の技術・機能を実際にご覧いただく貴重な機会となりました。

新規事業進出として販売開始した資源ごみAI自動選別機「AI・B-sort」においては、継続案件のフォロー、NEW環境展への出展など、積極的な拡販活動に取り組んできました。

生産面においては、短納期対応に向けた迅速な情報収集と柔軟な生産対応に取り組んできました。加えて、ジョブローテーションによるスキルアップをはかることで社員一人ひとりの成長を促すなど、企業全体の人材力強化に努めてきました。

② IT関連製造装置事業

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、受注高が2億70百万円(前年同期比2.1%減)、受注残高が2億79百万円(同45.1%減)、売上高が3億23百万円(同7.4%増)、営業利益が14百万円(前年同期は0百万円の営業利益)となりました。

中長期的な事業拡大を見据え、積極的な営業活動を展開した結果、新規顧客開拓を実現したものの、半導体向けや医療向けの需要が低調に推移したことで受注高は減少しましたが、その他の既存取引案件が堅調に推移したことにより、売上高及び営業利益は増加しました。

③ 自動車部品加工事業

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は42百万円(前年同期比11.7%増)、営業利益が3百万円(前年同期は5百万円の営業損失)となりました。

既存案件の継続的な取引によって、売上高が安定的に推移しました。利益面では、昨年度に取り組んだ採算性改善の効果によって、営業利益の計上となりました。

(2)財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は210億23百万円で前連結会計年度末に比べて8億80百万円の減少となりました。

区分別にみますと、流動資産は127億16百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億88百万円減少しました。その主な要因としては、電子記録債権が2億70百万円、現金及び預金が2億49百万円増加したものの、棚卸資産が8億17百万円、受取手形及び売掛金が3億47百万円減少したことによるものです。

固定資産は83億7百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億92百万円減少しました。その主な要因としては、投資その他の資産のその他(投資有価証券等)が83百万円減少したことによるものです。

次に当第1四半期連結会計期間末の負債は51億50百万円で前連結会計年度末に比べて4億72百万円の減少となりました。

区分別にみますと、流動負債は34億54百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億34百万円減少しました。その主な要因としては、流動負債のその他(未払費用等)が2億37百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が3億7百万円、電子記録債務が1億98百万円減少したことによるものです。

固定負債は16億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億37百万円減少しました。その主な要因としては、長期借入金が62百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は158億73百万円で前連結会計年度末に比べて4億8百万円の減少となりました。その主な要因としては、利益剰余金が1億88百万円、為替換算調整勘定が1億51百万円減少したことによるものです。なお、自己資本比率は75.5%(前連結会計年度末は74.3%)となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2025年5月2日に公表しました2026年3月期第2四半期(累計)連結業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日(2025年8月8日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,355	5,605
受取手形及び売掛金	2,289	1,941
電子記録債権	1,856	2,126
商品及び製品	1,256	982
仕掛品	1,579	1,123
原材料及び貯蔵品	787	701
その他	281	237
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	13,404	12,716
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,632	3,611
土地	2,411	2,411
その他（純額）	644	609
有形固定資産合計	6,687	6,631
無形固定資産	114	104
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	537	495
その他	1,194	1,110
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	1,697	1,571
固定資産合計	8,499	8,307
資産合計	21,904	21,023

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	861	554
電子記録債務	1,166	967
短期借入金	890	890
未払法人税等	48	37
賞与引当金	183	122
製品保証引当金	50	57
その他	586	823
流動負債合計	3,788	3,454
固定負債		
長期借入金	767	705
退職給付に係る負債	334	300
その他	731	690
固定負債合計	1,833	1,695
負債合計	5,622	5,150
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,773	1,776
利益剰余金	11,218	11,029
自己株式	△178	△178
株主資本合計	14,649	14,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	202	161
為替換算調整勘定	1,015	863
退職給付に係る調整累計額	408	379
その他の包括利益累計額合計	1,626	1,404
非支配株主持分	6	6
純資産合計	16,282	15,873
負債純資産合計	21,904	21,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,588	3,459
売上原価	2,902	2,634
売上総利益	685	825
販売費及び一般管理費	878	887
営業損失(△)	△193	△62
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	6	7
持分法による投資利益	—	2
為替差益	14	—
その他	12	10
営業外収益合計	34	22
営業外費用		
支払利息	1	3
為替差損	—	76
持分法による投資損失	20	—
その他	0	1
営業外費用合計	22	81
経常損失(△)	△181	△120
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△180	△120
法人税、住民税及び事業税	7	18
法人税等調整額	△27	△4
法人税等合計	△19	14
四半期純損失(△)	△160	△135
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△160	△134

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△160	△135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	△41
為替換算調整勘定	106	△124
退職給付に係る調整額	△14	△29
持分法適用会社に対する持分相当額	24	△26
その他の包括利益合計	92	△222
四半期包括利益	△67	△357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67	△356
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	工作機械事業	IT関連製造 装置事業	自動車部品 加工事業	計		
売上高						
日本	1,883	300	37	2,222	—	2,222
北米	461	—	—	461	—	461
ヨーロッパ	290	—	—	290	—	290
アジア	614	—	—	614	—	614
顧客との契約から 生じる収益	3,249	300	37	3,588	—	3,588
外部顧客への売上高	3,249	300	37	3,588	—	3,588
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	—	2	△2	—
計	3,252	300	37	3,591	△2	3,588
セグメント利益又は損失(△)	△188	0	△5	△193	—	△193

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	工作機械事業	IT関連製造 装置事業	自動車部品 加工事業	計		
売上高						
日本	1,843	323	42	2,209	—	2,209
北米	411	—	—	411	—	411
ヨーロッパ	85	—	—	85	—	85
アジア	753	—	—	753	—	753
顧客との契約から 生じる収益	3,094	323	42	3,459	—	3,459
外部顧客への売上高	3,094	323	42	3,459	—	3,459
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	—	0	△0	—
計	3,095	323	42	3,460	△0	3,459
セグメント利益又は損失(△)	△80	14	3	△62	—	△62

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	113百万円	106百万円